

令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告

1 組織

- (1) 都立福生高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 事務局長（教務部学運協担当）、記録（教務部1名） 計2名
- (3) 内部委員の構成
副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、1年学年主任 計6名
- (4) 協議委員の構成
保護者代表（PTA会長）、福生市教育委員会生涯学習推進課長、近隣中学校長、近隣保育園長、地域関係者、同窓会（運営委員） 計7名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～第3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和6年6月21日（金） 内部委員6名、協議委員7名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
本校の現状と課題等説明、昨年度の学校運営連絡協議会の報告と今年度の課題、協議「本校の現状と課題について」
 - 第2回 令和6年11月5日（火） 内部委員6名、協議委員6名
学校教育活動の報告、学校評価アンケートの内容検討、協議「地域連携、学校広報活動の充実」、
 - 第3回 令和7年1月20日（月） 内部委員6名、協議委員5名
教育活動報告、学校評価アンケートの結果報告及び学校運営に関する提言、協議「次年度に向けた改善」
- (2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和6年11月5日（火） 内部委員1名、外部委員2名
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
 - 第2回 令和7年1月20日（月） 内部委員1名、外部委員2名
学校評価アンケートの集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
学校運営を推進していくためには、生徒、保護者、地域、教職員が本校の教育をどのように捉えているかを的確に把握することが大変重要である。
「学校運営」、「学習活動」、「生活指導」、「特別活動」、「健康・安全」等の観点で評価アンケートを実施した。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

11～12月実施	全校生徒	対象：810人	回収：757人	回収率	93.5%
11～12月実施	保護者全員	対象：810人	回収：391人	回収率	48%
11～12月実施	教員	対象：45人	回収：45人	回収率	100%
11～12月実施	地域住民	対象：240人	回収：76人	回収率	31.6%
- (3) 主な評価項目
 - ・生徒（学習指導、生活指導、進路指導、学校運営全体）
 - ・保護者・教職員（学習指導、生活指導、進路指導、学校運営全体、ライフ・ワーク・バランスの推進など）
 - ・地域・住民（生活指導、学校運営全体、ライフ・ワーク・バランスの推進など）

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
 - 地域における学校の課題を検討する場として学運協は機能しており、協議委員（外部委員）の声から、福生市のいじめサミットや平和のつどい、七夕まつりのボランティア、市民文化祭の参加、保育園訪問、町会主催の防災訓練への参加などを通じて本校が地域に根付いてきている

ことは確実であることがわかった。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- 「大学進学希望者が行きたい大学に行ける学校」「英語・国際理解教育を進める学校」「部活動に一生懸命取り組む学校」という校長の掲げる3つのスローガンについては、昨年度に引き続き、着実に進んでいることが協議委員にも共有でき、今後もこの方向で学校運営を進めていくことに合意を得た。
- 学校評価アンケートについては、昨年度の反省を生かして、地域へのアンケート対象を近隣住民のみならず福生市や小中学校にも依頼し、さらに、永田町会の協力を得て、240枚の調査用紙を近隣住民に配布していただいた。その結果、地域の回答数は昨年度から倍増し、一昨年並みになったものの依然として回答数は少なく、アンケート方法については今後も検討が必要であることを痛感した。一方で、生徒の回答率93%を超えており、昨年度の72%を大きく上回った。毎年、回答数が増えている保護者の回答率は48%と昨年度よりも増えたが、まだ過半数の回答を得られていない。今年度はスポーツ祭が雨天中止となったため、行事に関して肯定的な評価が下がったものの、全般的に生徒からは高い評価を得ている。また、保護者からの評価は二極化傾向が見られ、肯定的・建設的意見と否定的・批判的意見が半々であり、こうした意見に真摯に向き合い、学校の方向性を定めていくことは大事であると思われる。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・来年度も今年度と同じ方向で学校運営を進めていく。

(2) 学習指導

- ・基礎的な学習内容の徹底に加えて、大学一般受験を想定した発展的な学習内容も充実していく。

(3) 特別活動

- ・学校行事を通じて、生徒の成長と地域の活性化を目指す。

(4) 生活指導

- ・生徒と保護者と近隣住民の理解と協力を得る。生徒の登下校時のマナーの改善をはかる。

(5) 進路指導

- ・保護者への情報提供と協力関係の形成に努める。

(6) 健康・安全

- ・自転車登校時のヘルメット着用を徹底する。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からない	無回答
3	3	1				

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

参加実績なし

8 その他

特になし